

福島大学地域未来デザインセンター
相双地域支援サテライト 研究員（福島県復興支援専門員）募集

1. 募集の趣旨

福島大学地域未来デザインセンターでは、東日本大震災からの復興及び住民の帰還・移住定住等を支援するため、「相双地域支援サテライト」を設置し、被災 12 市町村を対象とした支援活動を行っています。

この度、被災 12 市町村において、大学・地域・行政をつなぐ連携活動、実践的な調査・研究活動および教育活動の補助等の役割を担う研究員を、以下により募集いたします。

2. 募集職種及び採用予定人数並びに職務内容：

(1) 職種及び人数：契約職員（研究員）若干（1～4）名

(2) 職務内容：被災 12 市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）を対象とした、以下の各号の業務のひとつ、または、いずれか複数に従事する。

(ア) 各自治体が抱える課題とニーズの把握、各自治体やまちづくり会社、その他の復興に関わる組織（国、県、行政区等の住民組織、企業等）との連携

(イ) スタディツアーの企画・実施、大学生等を対象としたインターンシッププログラムや課題探究型学習の企画・実施

(ウ) 帰還者、移住者および避難者を対象とした被災 12 市町村内でのコミュニティ再生・形成の取り組み。行政区等の地縁組織の支援および、防災、子育て等のテーマ・コミュニティの支援

(エ) 各自治体の歴史と伝統文化、災害伝承や、新たな魅力の発掘による、シビック・プライドの形成と地域の価値の向上、発信

(オ) 各自治体の教育課題の把握と、教育環境整備に向けたワークショップ等開催、大学生等による教育環境支援のコーディネート

(カ) 学会報告や学術論文等による公表を含む、復興状況の発信と、上記の業務の成果の普及のための取り組み

※ 採用された職員は、福島大学職員(契約職員)の身分と併せて、福島県から福島県復興支援専門員として任命されることとなります

3. 応募資格

以下の各号の条件をすべて満たす者とする

(1) 大学院修士課程、または博士課程前期修了以上の者、またはそれと同等の研究業績を有し、復興支援活動に関する研究または教育の業績を有する者で、以下の号の細目の能力のすべて、またはいずれかを有する者

- (ア) 被災 12 市町村が抱える課題を把握し、各市町村におけるコミュニティ支援、復興支援に関する調査と実践を行う能力
- (イ) 福島県復興支援専門員としての業務内容を理解し、その業務遂行に必要な、市町村や福島県、復興庁等の行政機関との連携、まちづくり会社や住民組織、民間企業、および個々の住民との連携を行う能力
- (ウ) 被災 12 市町村において、教員等が行う、大学生を対象とした課題探求型教育のプログラム等の計画と実施を補助する能力
- (エ) 被災 12 市町村において、大学生等を対象とした、スタディツアー、ボランティアプログラム等を地域社会と調整のうえ、企画・実施する能力
- (2) 普通自動車免許(AT 限定可)を有し、学生等を公用車等で送迎する能力を有する者
- (3) パソコンを使用して、E-mail で連絡を取る、ワード等で文書を作成する、エクセル等で名簿や金銭の管理を行う、パワーポイント等でプレゼンテーション資料を作成できる、Google フォーム等でイベントの参加申し込みを管理できる能力を有する者
- (4) 勤務開始時点で福島県内に居住可能な者

4. 雇用条件

- ・賃金： 給与月額 29 万円を上限とし、経験等により給与月額を決定します
通勤手当が支給要件に応じて支給されます
- ・雇用期間： 2026 年 7 月 1 日～2027 年 3 月 31 日まで
(単年度契約による雇用、但し更新の可能性あり)
(採用日については 8 月 1 日以降も相談可)
- ・勤務日： 週 5 日(月曜日～金曜日) (但し休日労働を命じる場合があります)
- ・勤務時間： 午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで
(但し時間外勤務を命じる場合があります)
- ・休日： 土曜日及び日曜日、国民の祝日、年末年始、その他特に指定する日
(但しイベント等の開催のため休日出勤を命じる場合があります)
- ・勤務場所： 下記 A または B のどちらかになります。
採用予定者と相談のうえ決定します。
福島大学地域未来デザインセンター
 - A. 相双地域支援サテライト富岡 (富岡サテライト)
(双葉郡富岡町中央 2 丁目 8 3 とみおかワーキングベース内)
 - B. 相双地域支援サテライト小高 (小高サテライト)
(双葉郡南相馬市小高区内)
- ・各種保険： 雇用保険・社会保険に加入となります
- ・住居は福島県内に居住していただくこととなります

5. 提出書類

- (1) 履歴書：写真貼付、学歴（高等学校卒業以降）、職歴、主な所属学会等を明記したもの……1通
- (2) 最終学歴に関する証明：学位記の写し、または証明書……1通
- (3) 職務への抱負：地域未来デザインセンターに関わる職務上の抱負（A4版、形式自由）を2,000字程度にまとめたもの……1部
- (4) 応募者の業績・人物について照会可能な1、2名の氏名、所属及びE-mailアドレス
- (5) 研究・教育業績一覧：著書、論文、学会口頭発表、実践記録・実践報告等に区分し、書名、題名、発表雑誌名、発行所、発表学会名、発行・発表年月日等を明記すること。最も主要な業績1点に◎印を、主要な業績2点以内に○印を付すこと……1通
- (6) 研究・教育業績：上記（5）で◎印及び○印を付した著書、論文については、掲載誌の現物又はその抜刷り等（コピー可）、公刊予定又は印刷中のものについては原稿のコピー及び掲載証明書を添付のこと……各1部

なお、選考の過程において追加で書類の提出をお願いする場合があります。

6. 選考方法

書類選考及び面接により決定します。

なお、面接の日程は追って書類選考合格者に連絡します。

7. 募集〆切： 2026年5月8日（金）必着

8. 採用予定日： 2026年7月1日（ただし、採用日については8月1日以降も相談可）

9. 書類提出先：※電子応募も可能とする（JREC-IN Portal web 応募）

〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学社会共創課

郵送の場合は、簡易書留とし、封筒に「地域未来デザインセンター相双地域支援サテライト 研究員（福島県復興支援専門員）応募」と明記してください。なお、原則として提出書類は返却いたしませんので、あらかじめご承知おきください。また、提出書類の個人情報については、本選考以外の目的には使用しません。

※ 男女共同参画の観点から、女性の積極的な応募を歓迎します。採用選考における業績評価等の審査の結果、同等の評価が認められた場合は、女性を優先的に採用します。

※ 過去に学生に対するセクシュアル・ハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記入願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となる場合があります。